

第25回 苫小牧市公共交通協議会（書面会議）【要旨】

日 時 : 令和3年5月31日～6月4日（書面開催）

《報告事項》

報告第1号：公共交通協議会委員の変更について

- ・北海道札幌方面苫小牧警察署 佐々木委員
- ・北海道胆振総合振興局地域創生部地域政策課 野々村委員
- ・国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧道路事務所 福原委員
- ・北海道苫小牧西高等学校 大木委員

報告第2号：令和2年度公共交通関連事業について

- ・新型コロナウイルス感染症による利用減が影響している部分がある。

【市内路線バス】※補助対象外の学生便、臨時便の系統は除く

- ・令和2補助年度の利用者数は、2,028,685人（対前年比601,529人減）
- ・運賃収入は、460,701千円（対前年比112,347千円減）
- ・運行経費は、668,634千円（対前年比7,789千円減）
- ・全体収支は、207,933千円のマイナス（対前年比104,558千円のマイナス増）
- ・系統別補助金は、40系統中32系統に対して北海道と市で87,355千円（対前年比31,160千円増）

【樽前予約運行型バス（樽前ハッピー号）】

- ・令和2年度は4月27日から平日も土日祝日ダイヤでの運行であったため、増減に影響が出ている。
- ・令和2年度の利用者数は、16,069人（対前年比1,596人減）
- ・運行率は、平日で81.2%、土日祝日で50.7%
- ・市からの委託料は、運行経費から運賃収入、国庫補助5,315,500円を差し引いた7,197,125円
- ・樽前予約運行型バス利用促進事業として、樽前小学校に通学する児童に対し、市内路線バスの通学定期券購入代金の1/2相当額を補助。令和2年度は、延べ69人、220,670円を補助

【植苗・美沢地区コミュニティバス（とこバス）】

- ・令和2年度の利用者数は、2,378人（対前年比393人減）
- ・運行率は、50.6%
- ・市からの委託料は、運行経費から運賃収入を差し引いた、6,710,425円

【ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業】

- ・令和2年度の補助実績は、市内3事業者、120万円を補助

【JR（室蘭線、日高線）】

- ・JR北海道の「当社単独では維持することが困難な線区」である、室蘭線（沼ノ端～岩見沢間）、日高線（苫小牧～鶴川間）の維持存続のため、市内のイベントに合わせ公共交通利用促進ポスターを作成
- ・維持困難線区存続のため、北海道と沿線自治体が令和元年度と2年度の2年間に限り緊急的かつ臨時的な地域独自の支援しており、市は令和2年度に370万円を負担

報告第3号：令和2年度事業報告について

- ・協議会及び分科会の開催状況
- ・公共交通利用促進事業（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止）
- ・苫小牧市地域公共交通計画策定事業

報告第4号：令和2年度決算報告について

- ・バスマップ更新、地域公共交通計画策定業務委託料等

報告第5号：令和2年度監査報告について

- ・令和2年度会計収支決算書及び収支状況について監査した結果、帳簿、領収書等、関係書類の処理は適正であり、正確であった旨を報告。

《協議事項》

議案第1号：令和3年度事業計画（案）について

【地域公共交通計画】

- ・「苫小牧市地域公共交通計画」の策定（6月公表予定）
- ・毎年度の事業評価を実施。

【公共交通利用促進事業】

- ・バス待合所施設修繕事業
- ・産学連携事業（道南バス⇄高等学校、小学校、幼稚園等）

※産学官連携事業については、新型コロナウイルスの影響を踏まえ実施を検討する。

【苫小牧市公共交通協議会及び分科会】

- ・開催予定について確認

※新型コロナウイルスの影響、事業の進捗状況等に応じて時期変更の場合あり

議案第2号：令和3年度予算（案）について

- ・令和2年度の地域公共交通計画策定に係る国庫補助金の入金が令和3年4月となるため、令和3年度収入として予算を計上している。
- ・バスマップ更新、バス待合所修繕など、令和3年度予算（案）について説明。

議案第3号：樽前予約運行型バス（樽前ハッピー号）計画申請（案）について

- ・樽前予約運行型バス（樽前ハッピー号）に関して、国の補助事業である地域公共交通確保維持事業を活用するため、地域内フィーダー系統確保維持計画を策定。
- ・国補助を受けるためには、本協議会の承認を経て、国から当該計画の認定を受けることが必要。
- ・補助対象期間は、令和3年10月～令和4年9月（令和4補助年度）
- ・目標値は、国の指導を踏まえ、新型コロナウイルスの影響による利用者減を考慮して算出。

議案第4号：苫小牧市地域公共交通計画（案）について

- ・今回の協議会において、パブリックコメント及び軽微な修正を加えた計画(案)により具体的な協議を行う。
- ・パブリックコメントは令和3年3月30日～4月28日まで実施し、意見提出人数は10名。
- ・各委員及び議会からの意見を参考に最終調整を行い、本年6月に計画策定完了予定。

→地域分けをマスタープランに整合させているとのことだが、拓勇方面と勇払地区では特性がかなり違っているので、今後はエリアの格差をより明確に反映できる手法を選定しても良いのではとの意見あり。

⇒協議事項について、すべて原案どおり承認

以上